

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

32 しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。
だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」
(ルカによる福音書 22 章 32 節)

【奨励】「エリヤの椅子」
旧約聖書の中に登場する「預言者」といわれる人物の一人にエリヤという人がいます。エリヤは救い主の到来を告げる存在で、救い主があらわれる前に遣わされる人物として信仰されています。
キリスト教、イスラム教の原点でもあるユダヤ教では毎年「過ぎ越しの祭り（すぎこしのまつり）」という祭事が行われます。家族の長が、かつてエジプトで奴隷であった先祖の物語、そこからの解放（出エジプト）の物語を語り、食卓には特別な料理が並びます。そして食卓には一つ、入り口の一番近くに誰も座らない椅子を置きます。これが「エリヤの椅子」です。救い主の到来を告げるエリヤをいつでも迎えられるように、必ず一つ空席を作っておくのだそうです。

【2025 年の大学のクリスマス】



教会暦では2025年は11月30日（日）からアドヴェント（待降節）に入り、12月21日（日）がクリスマス礼拝になります。大学では12月2日（火）をアドヴェント礼拝、12月23日（火）をクリスマス礼拝（コンサート）として実施します。イエス・キリストの誕生を一緒にお祝いしましょう。

【聖歌隊で一緒に歌いましょう】
大学礼拝では学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。クリスマスの讃美練習もしています。ご参加くださる学生をお待ちしています。

【次回の大学礼拝（アドヴェント礼拝）】2025年12月2日（火）10時40分
聖書 ヨハネによる福音書 6 章 22-28 節
奨励 「クリスマスを待ち望む——アドヴェントに寄せて」小林昭博（宗教主任）

【前回の大学礼拝】2025 年 11 月 18 日（火）
学生：20 名 教職員ほか：8 名 合計：28 名

【大学礼拝週報】2025 年度 第 25 号（後学期第 10 号）
2025 年 11 月 25 日（火）午前 10 時 40 分
酪農学園大学 黒澤記念講堂

《礼 拝 順 序》

司 式	小林昭博（宗 教 主 任）
奏 楽	佐藤理恵（野幌教会会員）
讃美指導	相原晴伴（循環農学類教授）

前 奏 高きにいます神にのみ栄光あれ（アーベル作曲）

讃 美 歌 讃美歌 2 1 210 番（くる朝ごとに）

聖 書 マラキ書 3 章 23-24 節
ルカによる福音書 22 章 32 節

祈 り

さ ん び 酪農学園大学聖歌隊

奨 励 「エリヤの椅子」 横川容子

祈 り （国際交流課課長、元とわの森三愛高校聖書科教諭）

讃 美 歌 讃美歌第二編 157 番（この世のなみかぜさわぎ）

報 告

後 奏 いと愛しまつるイエスよ（ワルター作曲）

【本日の聖書】マラキ書 3 章 23-24 節、ルカによる福音書 22 章 32 節
23 見よ、わたしは
大いなる恐るべき主の日が来る前に
預言者エリヤをあなたたちに遣わす。
24 彼は父の心を子に
子の心を父に向けさせる。
わたしが来て、破滅をもって
この地を撃つことがないように。（マラキ書 3 章 23-24 節）